



THE ADECCO GROUP

AI（人工知能）に関する管理職を対象にした意識調査（2017年・2020年比較）

AI 導入済の回答が 2017 年比で 19 ポイントアップ、AI への期待感も増加

AI 時代に必要なビジネス能力は、分析的思考力・概念的思考力」

小学生が取り組んだほうが良いこととして、「プログラミング」が「語学」を上回る

【2020年12月25日 東京】

人財サービスのグローバルリーダーであるアデコグループの日本法人で、総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川崎 健一郎）は、上場企業に勤務する40代から50代の管理職（部長職・課長職）を対象に、「AI（人工知能）導入に関する意識調査」を実施いたしました。本調査は、2017年にも同条件の対象者へ調査を実施しており、2017年と2020年の意識差についても比較分析しました。

【調査結果サマリー】

2017年と2020年の意識比較

- ✓ 2020年では「AI 導入済」が 25.6%で、2017年より 18.8 ポイントアップし、AI の企業への導入が進んでいる
- ✓ 2020年では「AI にとっても期待している」が 37.4%と、2017年より 16 ポイントアップし、AI への脅威よりも特長や利便性への理解が浸透
- ✓ AI 導入による職場への影響は、「既存の仕事の効率化、生産性が向上する」が 58.8%で、2017年より 10 ポイント以上増加し、業務への好影響となる期待感が増している
- ✓ AI 時代に必要なビジネス能力は、2020年の1位は、「分析的思考力・概念的思考力」（45.9%）、2017年の1位「対人関係力」（55.0%）は、23.8 ポイント減少
- ✓ AI 時代に向けて小学生に必要な学習は、2017年に3位（42.7%）だった「プログラミング」が、2020年では1位（51.4%）に

【弊社の見解】

弊社では、2017年に上場企業に勤務する40代から50代の管理職（部長職・課長職）を対象に、「AI（人工知能）導入に関する意識調査」を実施し、今回、3年を経た意識比較を行うため、同条件の対象者へ同じ質問内容による調査を実施しました。大きな差異としては、勤務先でAIの導入が推進された点とAIに対する期待感が増加している点です。「AI 導入済」と回答した管理職は、2017年には1割未満（6.8%）だったのに対し、2020年では25.6%となり、18.8ポイント増加していることがわかりました。また、AI 導入に対する期待感について、2017年は「ととても期待している」が21.4%だったのに対し、2020年は37.4%に増え、期待感が増していることがうかがえます。3年前には、AIの特性について認識が限定的であったため、「AI に仕事が奪われる」というような脅威の感情を抱いている管理職も多くみられましたが、身の回りや職場で活用が進んだことにより、AI への理解や利便性について期待が高まっていることがわかりました。



<調査結果詳細>

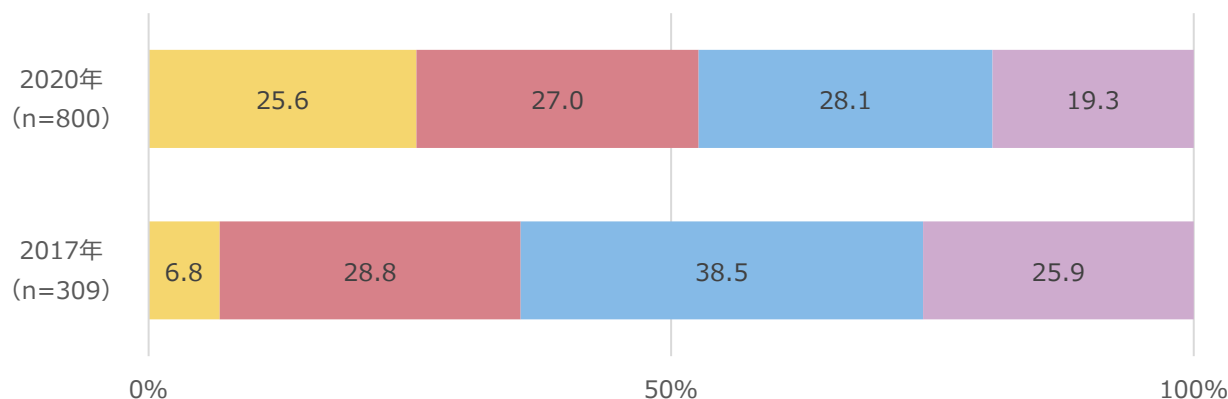
【AI 導入に関する意識】

AI 導入状況：「導入済」が 2017 年より 18.8 ポイントアップ

上場企業に勤務する、40 代から 50 代の管理職に対して勤務先での AI の導入状況について質問し、2017 年と 2020 年の回答を比較すると、2017 年には「導入済」がわずか 6.8%だったのに対し、2020 年では 3 倍以上の 25.6%となり、18.8 ポイント増加していることがわかりました。導入を検討中だった企業が実際に AI を業務に導入し、また AI サービスの普及により企業への導入が促進されていることが見て取れる結果になりました。

あなたの職場で AI（人工知能）は導入されていますか

(単一回答)



- すでに人工知能（AI）が職場に導入されている
- 現在は導入されていないが、3年以内には、導入される計画がある（計画中・検討中）
- 現在は導入されていないし、3年以内に、導入される計画もない
- 分からない

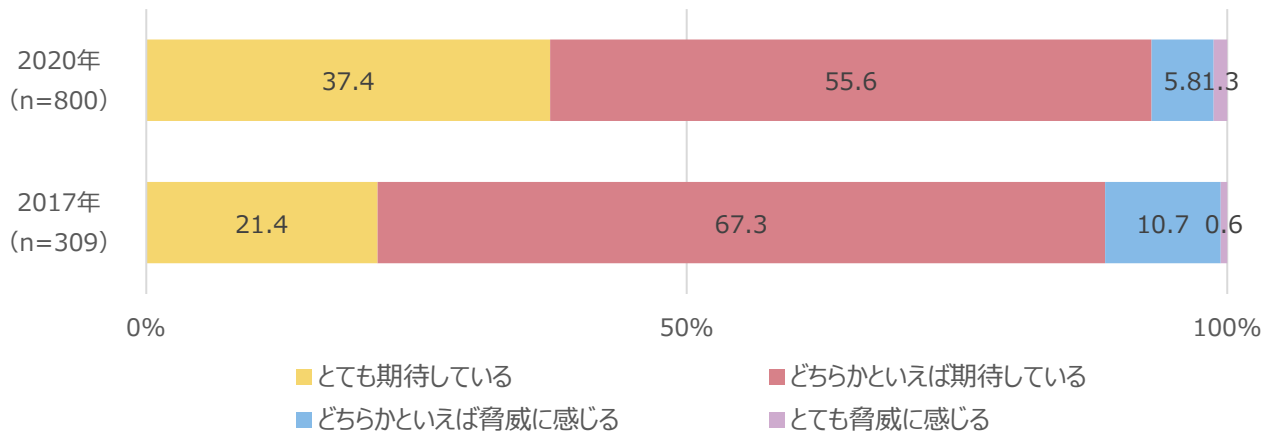


AI 導入における期待感：「とても期待している」が 2017 年より 16 ポイントアップ

勤務先での AI に対する期待感に関する回答について 2017 年と 2020 年を比較したところ、2017 年には「とても期待している」が 21.4%だったのに対し、2020 年は 37.4%に増え、期待感が増していることがわかりました。3 年前は、「脅威を感じる」という回答が約 1 割ありましたが、身近で AI が導入されるようになり脅威よりもその特長や利便性への理解が浸透したことが伺えます。

AI（人工知能）に対してどのように思いますか

(単一回答)

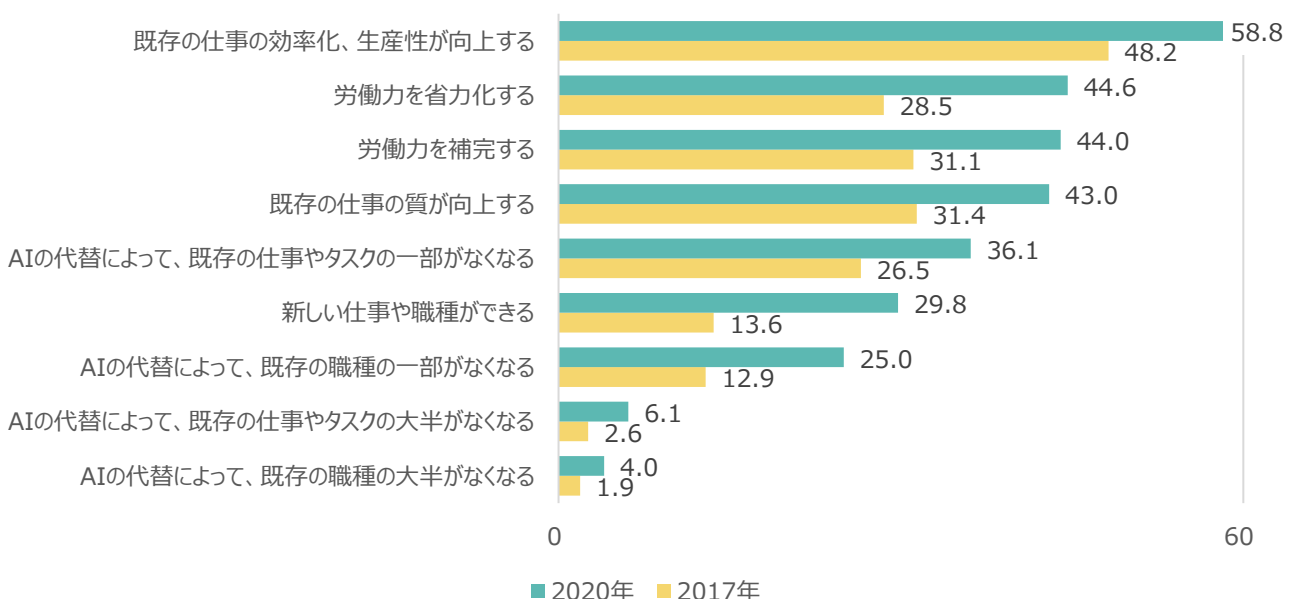


AI の普及による影響：約 6 割が「既存の仕事を効率化」できると認識

職場への AI の導入により、どのような影響を与えると思うか聞いたところ、「既存の仕事の効率化、生産性が向上する」という回答が 2020 年は 58.8%ともっとも高くなり、これは 2017 年より 10 ポイント以上の増加となりました。また、次いで高かった「労働力を省力化する」(44.6%) は、2017 年 (28.5%) より約 16 ポイント増え、業務内で AI を使い、情報に触れることが多くなり、理解が進んだことが伺えます。

2035 年において、あなたの職場で AI の普及はどのような影響を与えると思いますか？

(複数選択)



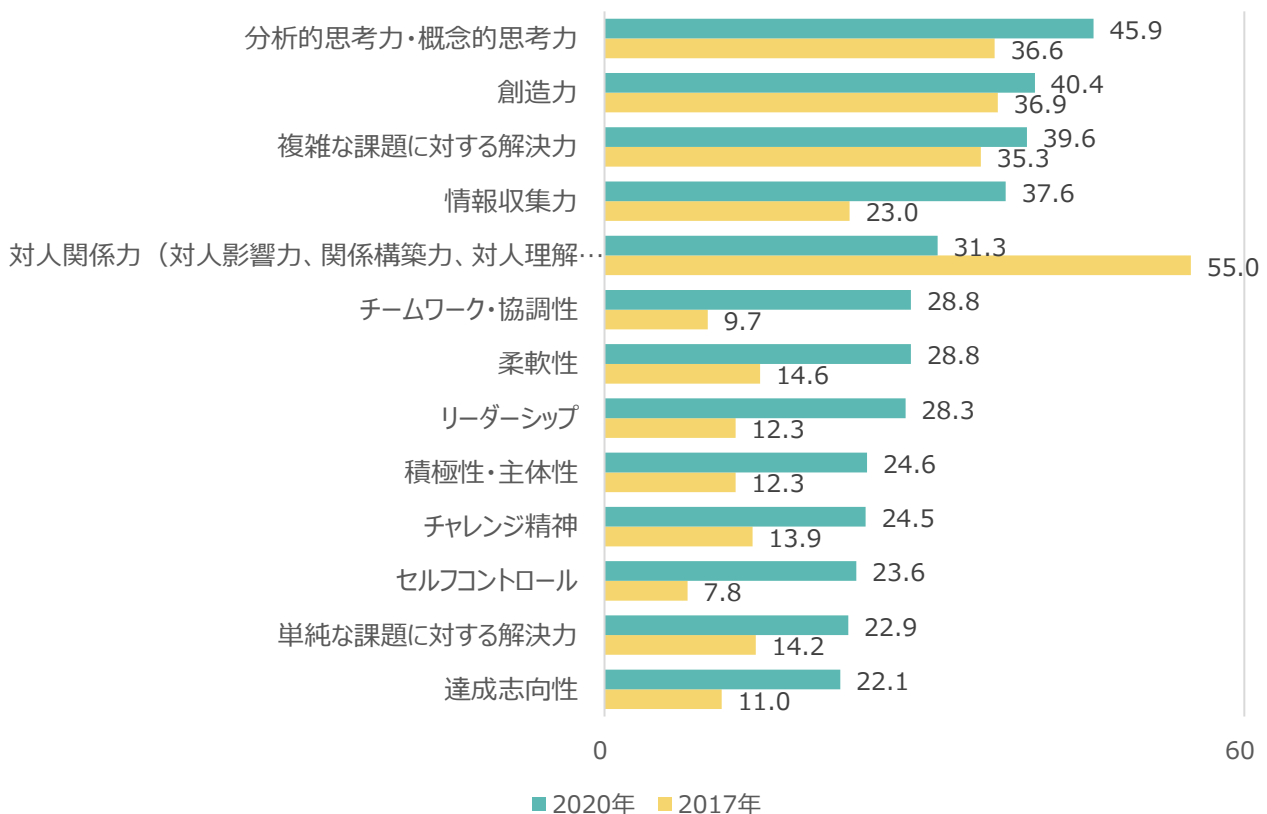


AI時代に必要な能力：2020年第1位「分析的思考力・概念的思考力」、2017年第1位「対人関係力」

AIが一般化される時代「AI時代」において、ビジネスシーンで必要とされる能力について質問したところ、2020年では、「分析的思考力・概念的思考力」（45.9%）が1位となりました。2017年は55.0%で最も高かった「対人関係力」（31.3%）は2020年では5位で回答の差は23.8ポイントも減少しています。こうしたことからAIへの理解が深まったことにより必要な能力について認識に変化が生じていることが予想されます。その他、「チームワーク・協調性」が2017年（9.7%）と比べて2020年（28.8%）では19.1ポイント伸長し、「リーダーシップ」は、2017年（12.3%）と比べて2020年（28.3%）では16.0ポイント伸長しました。

AI時代において、「ビジネスで重要な能力」と思うものはどのような能力ですか？

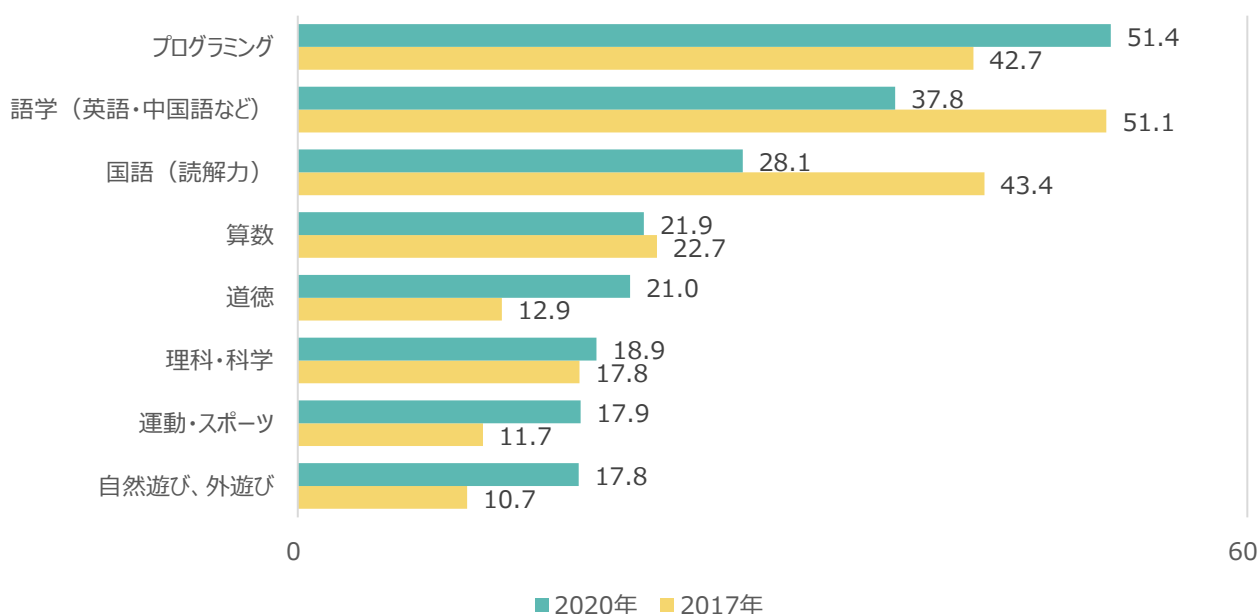
（複数選択）



**AI 時代に必要な学習：2017 年に 3 位だった「プログラミング」が、2020 年では 1 位に**

AI 時代に向けて、「現在の小学生が、将来、ビジネスパーソンとして活躍するために、今から取り組んでおいたほうが良いこと」について聞いたところ、2020 年では最も高いのは「プログラミング」（51.4%）となり、これは 2017 年（42.7%）の 3 位から 8.7 ポイントの伸長になりました。、次いで高かった回答は、「語学」（37.8%）でしたが、これは、2017 年（51.1%）では圧倒的な 1 位でしたが、2020 年では 13.3 ポイントの下落となりました。

**現在の小学生が、2035 年の AI 時代にビジネスパーソンとして活躍するために、
今から取り組んでおいたほうが良いことは何だと思いませんか？**
(複数選択)

**【調査概要】**

調査対象： 一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）の本社がある上場企業に勤務する管理職（部長職・課長職）。

回答数： 309 名（2007 年）、800 名（2020 年）

調査方法： インターネット調査

実施時期： 2020 年 12 月 5 日～12 月 7 日

※回答結果はパーセント表示を行っており、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しているため、各回答の合計が 100%にならない場合があります。

アデコ株式会社について

アデコ株式会社は、世界 60 の国と地域で事業を展開する人財サービスのグローバルリーダー、The Adecco Group の日本法人です。コンサルティングを通じ、働くすべての人々のキャリア形成を支援すると同時に、人財派遣、人財紹介、アウトソーシングをはじめ、企業の多岐にわたる業務を最適化するソリューションを提供します。アデコはより働きがいを感じられる社会の実現を目指し、さらなるサービスの強化に取り組んでいます。当社に関するより詳しい情報は、www.adecgroup.jp をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

アデコグループジャパン 広報部

Tel. 050-2000-7024